



「高校生の力でコロナ撲滅運動」

県立奈良朱雀高等学校では、学校の本格再開を受け、高校生の力でコロナ撲滅に貢献できることはないかと考え、コロナウイルス感染予防の消毒を簡単に行える、本校で製作した足踏式の消毒スタンドを考案しました。

この足踏み式消毒スタンドは、本校が令和3年4月に、創立100周年の歴史を礎に「奈良商工高等学校」として生まれ変わることから、『REBORN 奈良商工』と名付けました。また、新たに開校する奈良商工高等学校の飛躍を願い、デザインしたものになっています。

機械工学科の生徒が「課題研究（3年生）」の実習授業の中でこの足踏式消毒スタンドを製作しています。



令和2年度 機械工学科「課題研究作品」 足踏式消毒スタンド『REBORN 奈良商工』が新聞やテレビ番組で紹介されました。

- 6/12 奈良テレビ放送「ゆうドキッ！」で取組が紹介されました。

検索ソフトで「奈良朱雀高校 消毒スタンド」を検索していただいても視聴できます。

- 6/16 NHK奈良放送「ならナビ」でも取組が紹介されました。

検索ソフトで「NHK奈良放送 奈良朱雀 消毒スタンド」を検索していただいても視聴できます。



分散登校が始まった県立奈良朱雀高校（奈良市柏木町）は、感染防止対策として、通用口に足踏み式の消毒スタンドを設置した。荷物で手がふさがっていても簡単に消毒ができるよう、同校機械工学科の教諭が作製した。今後、同科の生徒がスタンドの製作に取り組み、県内の小中学校に届けの予定という。

スタンドは高さ約1.5mの鉄製。足元のペダルを踏むと、手を使わなくても消毒液を出すことができる。同校は来年度から「県立奈良商工高校」に校名を変更する。校名の周知などをねらい、消毒液のポンプを押し部分に「REBORN 奈良商工」と切り抜いた金属板を付けた。金属の加工などを扱う授業で、同科の3年生が同様のスタンドを作る予定だ。

同科の松村裕次教諭は「生徒の学びが近くの別の場で役立てられるといい」。乾修司校長は「自分が作った物が誰かのために経験や楽しさを感じてもらえるような取り組みをすすんで作りたい」と話した。

手を使わず 足踏み消毒 奈良朱雀高が製作



教室に入る前に生徒たちはスタンドを使って手指を消毒した＝奈良市柏木町